

300/500シリーズマネージドスイッチでのセキュアシェル(SSH)サービスの有効化

目的

デフォルトでは、300または500シリーズマネージドスイッチは、設定ユーティリティを使用してWebブラウザから設定できます。Secure Shell(SSH)を使用すると、管理者はコマンドラインインターフェイス(CLI)を介してサードパーティ製プログラムとスイッチを設定できます。SSHを介したCLIモードでは、管理者はセキュアな接続でより高度な設定を実行できます。この記事では、300/500シリーズマネージドスイッチでSSHサービスを有効にする方法について説明します。

適用可能なデバイス | ソフトウェアバージョン

- Sx300シリーズ | 1.3.0.62([最新バージョンをダウンロード](#))
- Sx500 シリーズ | 1.3.0.62([最新バージョンをダウンロード](#))

SSHサービスの有効化

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインし、Security > TCP/UDP Servicesの順に選択します。TCP/UDPサービスページが開きます。

TCP/UDP Services

HTTP Service: ☒ Enable

HTTPS Service: ☒ Enable

SNMP Service: ☐ Enable

Telnet Service: ☐ Enable

SSH Service: ☒ Enable

Apply

Cancel

ステップ 2 : SSH Serviceチェックボックスをオンにして、SSHを介したスイッチのコマンドプロンプトへのアクセスを有効にします。

ステップ 3 : Applyをクリックして、すぐにSSHサービスを有効にします。

[この記事の関連ビデオを見る...](#)

[シスコの他のテクニカルトークを表示するには、こちらをクリックしてください](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。